

平成30年7月17日(火)

夏季休業前全校集会校長挨拶

1 文化祭ご苦労様

古来、祭りは、日常の対局と位置づけられ、晴れの日として、生活を彩ってきた。そこでは、感情や喜びを発散して、もう一度日常への新たな心構えを形作るのである。

蒼き旋風は、まさに現実のものとなった。この風を受け、各自船を出す時期だ。大海原を目指して舵を切れ。

注意が一つある。万民の闘争状態を回避するため、社会秩序の維持は重要であり、漢の国を興した劉邦は、殺すな、傷つけるな、ものを盗むなという戒律によって、人民の支持を得たことは有名な話である。

集団としての市民を持続させるため、公共の福祉に配慮し、他人をリスペクトして人と共に生きる力をつけることが大切なのである。自分だけが得をすればよいという考え方は集団としての市民生活を壊しかねず、つまり個人の指摘財産の価値さえも失わせることになるのである。

人がいやがることをしない。この根本を大切にしてほしい。SNSばかり。ものを盗まないことばかり。そしてこの秩序をみんなで守ってほしい。人とうまく繋がって、当たり前前することを当たり前前にする。この文化祭で学んだことを今後に活かしてほしい。

2 全国出場する諸君へ

インターハイ出場する テニス部、陸上部 また、
全国総文祭に出場する放送委員会、美術部、写真部、将棋部、文芸部、天文地 質部、
並びにNHK杯全国高校放送コンテストに出場する放送委員会
全国の扉を開いてほしい。全力で戦ってきてください。

3 夏休みの間、海・山・川や交通事故で命をなくすことのないよう、再度確認します。

平成12年ごろ、磐城高校生が鮫川河口付近でおぼれて亡くなったことがあった。火力発電所の取水口からタンクの中に亡骸が入って、見つかるまで何日もかかった。両親は毎日海に出て子供を探していたのを思い出す。そんな悲劇を繰り返してはいけない。何度でも言うが、校長より先に死んではいけない。全員が肝に銘じて過ごしてほしい。

4 夏こそ、進学のための勝負の時を迎える。各自自分の進路へ向けて、計画的に勉学を進めてください。

まとまった時間がとれるこの時期を有意義に生かすこと。かといって、そんなにゆとがあるわけでもないのは百も承知。様々なことを計算に入れて、計画を立てる。まずは、今日から、22日までが一つの大きな山。エンジンをきちんと吹かしてスタートダッシュをしてください。

5 国語に苦手感がある人は、校長室に勉強に来てください。いつでも扉は開いています。

以上